

令和7年度学校運営協議会設置通知書交付式・学校運営協議会委員委嘱状交付式
及び第1回学校運営協議会

日 時：令和7年4月15日(火) 15:30～16:58

場 所：山梨県立富士北稜高等学校 大講義室（4階）

(1) 学校運営協議会設置通知書交付式・学校運営協議会委員委嘱状交付式

司会（学校運営協議会 担当指導主事）

- ① 開式の言葉（司会）鈴木先生
- ② 県教育委員会あいさつ（高校教育課 中島先生）
- ③ 県教育委員会職員紹介
- ④ 学校運営協議会設置通知書交付
- ⑤ 学校運営協議会委員委嘱状交付
- ⑥ 閉式の言葉（司会）

(2) 第1回学校運営協議会

（司会：教務主任）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 学校長あいさつ（15:40～15:46）
地域の実情に応じた教育活動の展開
地域の方々との協力により、より良い学校づくり
学校運営の基本方針の実現
魅力化プロジェクトの実施
- ③ 学校運営協議会委員紹介
自己紹介
- ④ 学校運営協議会の運営等に関する要綱について（資料P.2～参照）
議事録のホームページへの掲載を行う。
- ⑤ 学校運営協議会会長及び副会長選出
会長：鈴木様 副会長：加藤様 推薦（総合学科主任）
鈴木様は、富士吉田市制に尽力・昨年度まで学校評議員として活躍
加藤様は、経営者として見識をもとに本校運営協議会の運営に大いに寄与していただける。
- ⑥ 会長・副会長あいさつ
より良い協議会、より良い事業になるよう、皆様のご協力をお願いいたします。
- ⑦ 議事（議長 鈴木富蔵）
ア 令和7年度学校運営基本方針について（校長）
スクールミッション・スクールポリシーについて説明（資料P.6 参照）
令和7年度学校運営方針（資料P.7～参照）
→質疑応答なし
イ 学校評価報告書について（教頭）
別紙資料の説明
半数の生徒が地元就職する。残りの半分はどういう進路に進んでいるのか？
（堀内委員）

残りの半分の生徒は、大学・短大・専門学校に進学している。（校長）
ウいじめ防止基本方針について（夏目先生）

未然防止への取り組みが重要

教員間での情報共有（いじめ対策委員会 2か月に1度）

関わった教員が1人で抱えず、他の教員と情報共有することが大切である。

生徒間のトラブルについて、年次会議、分掌会議を通して、解決策を模索している。重大案件の場合には、拡大いじめ対策委員会等で協議員の意見をお借りしたい。

萩原様：いじめアンケートに記名式でも、生徒は回答するのか？

夏目：記名式で実施している。記名式でも記載する生徒はいる。

（以前は無記名）記名式にすることで、迅速な対応が可能になる。

いじめの内容については、日常の揉め事や重大な案件について記載してくる。

萩原様：無記名式にした方が、他者のいじめなどについて記載しやすいのではないかな？

夏目：記名式でも、いじめについて、周囲の生徒が記載する事案はある。

エ Hokuryo 魅力化プロジェクトについて（校長から説明）

教員の働き方改革などについて、運営委員から意見を伺いたい。

よのなか科への出席の依頼（可能であれば5回くらいお願いしたい）

中山様：よのなか科への参加の場合は、授業とリフレクションについては、どちらに参加すればよいか？

校長：授業は、生徒と一般の方 リフレクションは、一般の方のみ

栗井様：スポカル山梨の運用はうまくいっているのか？

校長：スポカル山梨は、主に中学校での仕組み。高校では利用することは難しい。高校での導入には至っていない。できたら導入して、先生方の負担を軽減したい。

魅力化プロジェクト 承認

オその他

⑧ 連絡事項

ア令和7年度年間行事予定について（教務主任）

定期試験の最終日に成績処理日（教員の負担軽減）

学園祭の日程（1. 5日）

2学期開始時期、他校より遅め（進路指導の時間確保・働き方改革）

強歩大会の廃止（温暖化の生徒の健康への影響・教員の働き方改革）

会議時間の設定（60分以内）

イ 進路状況説明（R6.3 卒業生） （進路相談主任より）

過去の進路状況については、ホームページを確認してください。

中山様：進学の子と就職の子の割合で、進学の子の割合が多いのか？

進学と就職の割合は、半々である。経済的な状況により就職を選ぶ生徒が多い。

堀内様：総合型選抜では、学校生活で取り組んだことが重視されるのか？

あかね先生：資格取得を利用する受験が多い。

（3）意見交換

第2回 11月13日実施予定

校長より補足：魅力化プロジェクトに関して、加配を県教委よりいただいている。

県教委に認められたプロジェクトである。

中山様：授業料無償化により、生徒の私学への流失

北稜の魅力をもっと発信すべき（生徒集約のため）。

些細なことでも、取材させていただく

人手不足について、地元の企業の方々との交流の機会を作る

《例》保護者を含めた企業見学ツアー、キッザニアのような職業体験を学校で開催するなど

働き方改革との兼ね合いもあると思うので、メディアを有効活用してもらいたい。

校長：メディアを通しての情報発信を積極的に行いたい

授業料無償化による、公立高校の定員割が続いているため、その対策として魅力化プロジェクトを実施していく。

就職先の決定の際に、保護者の意見の影響力は大きいので、提案のようなものを教員の負担増にならないような形で実施していきたい。

（4）閉会の言葉（司会）

※今後の予定

第2回学校運営協議会 令和7年11月13日（木）

第3回学校運営協議会 令和8年2月9日（月）